

1. 2020 年度 事業計画の基本構想

現体制の一般社団法人日本オーディオ協会「以後（一社）日本オーディオ協会という」の運営も3年目を迎えました。直近の話題としましては、ハイレゾのストリーミングサービスが始まるなど、音楽が「いつでも、どこでも、誰でも」当たり前のように聴くことができるというライフスタイルが、ますます広がりつつあります。

一方で、COVID-19の影響もあり、社会・経済が沈みがちになっておりますが、一人でも多くの方々に早く元気を取り戻していただくためにも、良い音で音楽に感動する体験をお届けしたい思いを強くしております。また未来に向かって、更なる楽しい音楽体験を創造する活動を加速させる必要があると考えております。そのために本年度は若い方々に積極的に関わっていただき、ハイレゾに続く市場拡大につながる新技術の普及啓発活動の検討や新たな活動を切り開く検討組織を設置します。

会員の皆様を取り巻く状況の変化は厳しいものがあることから、（一社）日本オーディオ協会の活動はこれまで以上に効率化が必要となってきております。業務の棚卸しを進め、活用できる資産は会員の皆様に還元し、未来につながらないものは廃止する判断も必要かと考えています。

（一社）日本オーディオ協会は、令和の時代に相応しい活動、ならびに未来に向けての活動を本年度も積極的に行って参ります。

2. 2020 年度 活動方針と活動組織について

【継続して行う活動】

OTOTEN、音の日イベント、JAS ジャーナル発行は、これまでも協会にとって重要な事業でしたが、今後も同様に重要な事業と位置付け、それぞれの実施にあたっては委員会組織で対応します。

① OTOTEN2021 〔定款 第4条（2）（5）（7）に基づく活動〕

OTOTEN2020 は COVID-19 の感染拡大防止の配慮で開催を取り止めました。当面、人が一堂に会する形の展示会などの実施は難しいため、別な形で業界を活性化する施策を検討します。

今期は展示会実行委員会の役割を見直し、開催目的や提供価値も含めて時代に合った展示会の在り方について審議し、今後の展示会コンセプトの方向性を確認し、方針決定を行います。その上で OTOTEN2021 は、皆様の満足度の高い展示会を目指します。

展示会実行委員会：

<役割>

- 1) コンセプト確定、全体計画の策定
- 2) 進捗管理、リスクヘッジ検討
- 3) 目玉イベント、セミナーの検討
- 4) 出展者の幅を広げる検討
- 5) 中長期的な採算性の改善を考慮し、会場、ならびに出展料見直しの検討

② 音の日 2020〔定款 第 4 条（2）（5）（6）（7）に基づく活動〕

未来志向な音の日イベントの実施を目指します。

- ・本年度も「学生の制作する音楽録音作品コンテスト」を実施します。
 - ・音の匠は、オーディオ業界関係者の中から、顕彰にふさわしい方を選出します。
 - ・未来を語っていただく講演会を実施します。

音の日委員会：

<役割>

- 1) 全体計画の策定
- 2) 進捗管理、リスクヘッジ検討
- 3) 音の匠や講演会講師の選出
- 4) 学校・学生、審査員の先生方、他団体との関わり方検討

③ JAS ジャーナル〔定款 第 4 条（1）（2）（4）に基づく活動〕

広く見ていただける広報誌へ変化を計ります。

HTML 化し、閲覧性や検索性を改善し、スマホやタブレットでも気軽に見られるようにします。読むきっかけを与えるタイトルの工夫などを実施します。

過去の JAS ジャーナルの電子化検討

データベース化と同時にペーパーレス化を推進します。

見つかった興味深い記事の再掲を検討します。

JAS ジャーナル編集委員会：

以下の編集方針に沿って活動します。

- ・読んでもらえる誌面作り
- ・興味を持ってもらえるネタの洗い出し
- ・深掘りした内容
- ・タイムリーな発信

・データベース的役割

【活動を見直す組織】

2019年度まで実施してきましたハイレゾ WG、カーオーディオ専門委員会、音のサロン委員会については、以下の案件について各々ワーキンググループ（WG）として継続して活動します。これらの継続案件の活動が終了した後の対応について、活動方針を見直す時期が来ており、今後の課題の洗い出しや組織体制についても、WG 内にて検討します。

④ ハイレゾ WG

True Wireless 型イヤホンのハイレゾワイヤレス規約要件の検討

⑤ カーオーディオ WG（旧：カーオーディオ専門委員会）

カーオーディオガイドブック作成検討

⑥ 音のサロン WG（旧：音のサロン委員会）

オーディオユーザーの掘り起こしをテーマとした試聴会の実施検討

また、下記に記載した【新規に行う活動】の新技術対応 TF へ、ハイレゾ、カーオーディオの幹事メンバーは立上げメンバーとして参加いただきます。同様に新たな活動検討 TF へ、音のサロンの幹事メンバーは立上げメンバーとして参加いただきます。

【新規に行う活動】

オーディオ市場ならびにオーディオ業界の未来を切り開くための活動を加速させます。新技術の普及啓発活動や新たな活動を切り開くための検討組織（タスクフォース）を設置します。

⑦ 新技術対応〔定款 第 4 条（1）（2）（3）（4）に基づく活動〕

ハイレゾに続く市場拡大につながる新技術（3D オーディオ技術やこれからポータブルオーディオで主流になるであろう Bluetooth Low Energy 対応、5G 対応など）を審議し、これらに相応しい普及啓発の検討を行います。

新技術対応タスクフォース

2020 年度は、今後の活動の準備期間として、新技術の可能性を審議します。

⑧ 新たな活動検討〔定款 第 4 条（1）（2）（4）（6）（7）に基づく活動〕

若手による、未来創造のための活動（セミナーの企画、学生との交流会実施、女性や若者向けの活動、新規活動の支援など）を検討します。

新たな活動検討タスクフォース

2020年度は、今後の活動の準備期間として、どういった活動をするのが効果的かを審議します

【その他の活動】

⑨ 事務局が中心となって行う活動

◆ 広報活動〔定款第4条(2)(4)に基づく活動〕

協会活動をポジティブにアピールする戦略的広報を目指します

- ・優先順位の見直し

HPの改善検討、SNSの活用方法、JASジャーナルの活用、会員向け情報

- ・イメージアップにつながるネタの洗い出しと発信
- ・各メディアとの定期的なコミュニケーションの実施

◆ 対外活動〔定款第4条(7)に基づく活動〕

- ・すでに交流のある省庁、団体、流通、カーメーカー等との関係を再確認

- ・今後、新たに交流を求める団体の可能性を確認

- ・学校、AESなど若い人たちとの交流が見込めるところとの関係を強化

◆ Solution活用検討〔定款第4条(4)(9)に基づく活動〕

協会の持つあらゆる資産の活用方法を検討します。

- ・会議室の利活用を検討

空いている時に遊びに来れる自由度を！

会員や学生のコミュニケーションの場に

試聴会、新製品／新技術セミナーの開催、プレスイベントの実施など

- ・情報資産（JASジャーナルやCD）や、人的資源（技術保有者、歴史証言者、業界で活躍された方）の活用検討

◆ 業務効率化検討〔定款第4条(9)に基づく活動〕

事務局の業務を更に効率化し、機動力のある組織を目指します。

- ・各人のタスク見直しだけでなく、業務文書の見直しを実施
- ・業務の電子化
- ・外注化可能性の見極め

◆ 70周年記念事業検討〔定款第4条(2)(5)(7)に基づく活動〕

70周年記念事業の具体案について検討し、2022年度の実施を目指します。

⑩ SDGs 〔定款 第4条（6）（7）（9）に基づく活動〕

会員ならびに事務局が、協会のすべての活動を通して、以下の項目について、国連が採択した持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献します。

- ・SDG4 学習
「学生による録音音楽制作コンテスト」の実施
- ・SDG5 ジェンダー平等
女性や若者にもオーディオ体験を！
- ・SDG8 雇用
未来を創出し、雇用の機会を増やす
- ・SDG9 イノベーション
ハイレゾに続く市場活性化のための新技術掘り起こし
- ・SDG11 都市・住まい
いい音のある環境作り
- ・SDG17 グローバルパートナーシップ
海外の企業・団体との交流
OTOTEN に海外企業の誘致

組織図

組織は、下図のとおりとします。

